

安城ロータリークラブ



週報

【No.622 2014/1第4例会】

例会日：毎週金曜日

例会場：碧海信用金庫本店3F

安城市御幸本町15-1

TEL:0566-75-8866

FAX:0566-74-5678

Email:anjo-rc19580206@katch.ne.jp

HP :http://www.anjo-rc.org

第2763回例会

2014年1月31日(金) 12:30～13:30

司会者：辻 隆士君

ソング：「手に手つないで」「四つのテスト」

卓上花：アンスリウム

ゲスト及びビジター：

マトウンハイ カタリン ナランホ様 中部日本研修センター 研修生
村松 明(むらまつあきら)様 中部日本研修センター 所長



2013-2014年度RIテーマ：

「ロータリーを實踐し、みんなに豊かな人生を」

安城ロータリークラブ会長方針：

「充実したロータリーライフを楽しもう。」

■会長：都築 雅人

■幹事：神谷 研

■クラブ会報：青山竜也・川合昭道・加藤英明

■創立日：S33年1月10日

■RI加盟認証日：S33年2月6日

■会長挨拶

都築 雅人会長

ロータリー米山記念奨学会

★シンボルマーク



重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」を表している。外国人留学生の支援を通じ、国を超えた信頼関係を築き、世界平和を願う“心”を育てるといふ、事業創設の願いが込められている。

★米山梅吉(1868～1946年)

明治～昭和時代前期の銀行家。1920年、日本に初めてロータリークラブを設立し(東京RC)、初代会長となった。

(参照：ポール・ハリスは1868～1947年)

★歴史

1952年 東京RCに奨学事業として、米山基金構想

1957年 全国組織「ロータリー米山奨学委員会」結成

1960年 「ロータリー米山記念奨学会」と改称

1967年 財団法人として、「ロータリー米山記念奨学会」認可



★特徴

①世話クラブ・カウンセラー制度

世話クラブのカウンセラーが、日常の相談役となり、奨学生が安心して留学生活を送れるようにしている。

②日本最大の民間奨学事業

年間の奨学生数は700～800人。事業費は約14億円。寄付が多い地区ほど多くの奨学生を採用できる。

★現状

・寄付について

3万円/年毎の個人寄付への表彰として、準米山功労者、第1回米山功労者、第2回～米山功労者マルチプルがある。1月10日の当クラブの例会で7名の功労者への感謝状を、お渡しした。

・奨学金

学部課程 : 10万円/月

修士課程・博士課程: 14万円/月

ちなみに、ニーニーエイさんは、名城大学大学院経営科経営学専攻修士課程。

・出身国

中国(32.4%)、韓国(23.5%)、台湾(19.1%)の順に多く、この3国で、75%を占める。

・奨学生の義務

月に1回、世話クラブの例会に出席すること

年2回奨学レポートを奨学会に提出すること

奨学期間中、2回の卓話や親睦活動・奉仕活動への参加

【2月のクラブ内例会・委員会予定】

7日 クラブフォーラム ロータリー情報委員会

インシエーションスピーチ 辻隆士君・成瀬克久君・山田庸雄君・岩井春次君

* 定例理事会 * 米山奨学生ニー・ニー・エイさん来訪

14日→15日 インターシティミーティング グランドティアラ安城(ホスト西尾一色RC)

21日 卓話担当 戸谷央君

卓話者 一般社団法人安城青年会議所 直前理事長 山本智志(やまもとさとし)様

テーマ「明るい豊かな社会の実現へ」

28日 卓話担当 深津正則君

卓話者 地区国際奉仕副委員長 杉浦敏夫(すぎうらとしお)様

* 定例理事会

《2月の行事予定・地区会議》

1日 新会員研修セミナー 11:00～豊橋創造大学

細井地区研修委員 恒川君 青山君 加藤英明君 辻君 山田君 岩井君

4日 財団補助金管理セミナー 12:00～東急ホテル 永谷エレクト 横山副幹事 神谷財団会計長

8日 IAC次期役員・提唱クラブ次期委員長会議 15:00～名古屋YMCA

9日 デンパーク駅伝 都築会長

22-23日 安城ロータリー旗争奪少年野球大会

26日 ガバナーナイトの集い 18:30～ウェスティンナゴヤキャッスル 沓名君 奥田君 深津君 恒川君

■ 幹事報告

神谷 研幹事

・2/15(土)IMのプログラムと記念品が届いておりますお持ち帰りください。

・ワイン同好会 2/6(木)18:00～ 鯛常ビル1F イタリアンレストラン「ダ・テッラ」にて開催いたします。

・ランチ同好会 2/13(木)12:00～桃源楼 ご参加ください。

会員	60名
出席義務者	46名
出席	40名
欠席	6名
出席免除者の出席	13名
出席率	89.83%
修正出席率	1月17日 第2761回 88.33%



◆卓話

磯貝 廣治君

テーマ：「オイスカと私」

卓話者：中部日本研修センター 研修生(2012年入国)

マトウンハイ カタリン ナランホ様 出身国 フィリピン

同伴者 中部日本研修センター 所長 村松 明様

私はカタリンと申します。

フィリピンから参りました。オイスカ中部センターでは2年間研修してます。一昨年3月に日本に来ました。日本に来る前にオイスカダバオセンターで二年間勉強しました。中部センターでは家政科の勉強をしています。料理、パン、生け花など日本の文化などを勉強しています。私の様な研修生を色々な国から受け入れ研修を行っています。オイスカ中部研修センターでは、いま農業6名、家政科2名そして他のコースの研修生もいます。合わせて12名がいます。研修ではコミュニケーションや仕事など大変な事も有りますがとても勉強になります。そして時々研修の為に見学や色々な人と交流会をします。

今からフィリピンの事を話します。フィリピンは7,107の島が有ります。世界で一番多い島があります。フィリピンはアジアの南東にあります。面積は30万平方キロ、大きく3つの島に分かれています。言語は175あります。皆に解るようにタガラグ語を使っています。季節は雨季と乾季です。11月から5月まで涼しく雨が降っています。6月から10月まで夏でフィリピンの夏と日本の夏は違います。日本はとても暑いですが私の国ではちょっと涼しいです。

次はフィリピンの旗です。旗の色には意味が有ります。白は平和、青は愛国心、赤は自立と自由を表しています。太陽はスペインから独立、3つの星は大きな島を表しています。

フィリピンの人口は9,823万人、多いです。でも13%は他の国へ働きに行っています。

